

国際交流学部国際交流学科 3年

留学先: サセックス大学(イギリス)

留学期間: 2025年4月～2026年1月

・留学を決めたきっかけや目的

幼い頃、両親がよく海外旅行に連れて行ってくれたことや英会話教室に通っていたことで、人種や文化が違っても、海外の人と会話ができる楽しさを自然と感じるようになりました。高校生の頃には「日本とは異なる暮らしを実際に体験してみたい」という思いが強くなり、留学への憧れを抱くようになりました。また、日本で世界情勢を学ぶ中で、同じ出来事でも国が違えばどのように受け止め方が異なるのかを知りたいと考えるようになりました。日本では当たり前とされている考え方だけで物事を判断してよいのか、日本的な視点に偏っていないかという疑問を抱いたことも、留学を決意した大きな理由です。さらに、日本と海外の教育方法の違いを実体験として感じてみたい、実際に現地の学部授業に参加して学びたいという思いが、長期留学への強い動機となりました。

・留学先で困ったこと、大変だったこと

留学中は大きなことから小さなことまで、数多くのトラブルに直面しました。留学当初は一つひとつに戸惑い、慌てることも多かったですが、後半になるにつれて冷静に受け止められるようになりました。次第に、トラブルへの対応自体をサバイバルゲームのように捉え、どのように解決できるかを考えることを楽しむようにもなりました。結果として、自己解決力や積極的に行動する姿勢の重要性を強く実感しました。

・留学を通して自分について新たに気づいたこと

留学を通して、自立心や自己理解、自己決定力が大きく成長したと感じています。一人暮らしや異文化環境での生活を経験する中で、自分の価値観や感情と向き合いながら行動する力が養われました。また、自分に合わない人や環境とは適切な距離を取り、合う人や環境を自ら選択する判断力も身につきました。困難やトラブルに直面した際には、自ら解決策を考え、実行する経験を重ねることで、自信や主体性が高まったことを実感しています。

